

## 健康管理（その後）

このサロンで前回原稿を書いたとき、「健康管理」という題で書いておりました。その後、これに関連してちょっとした出来事がありましたので、今回はそのことについて書かせていただきます。

前回の原稿を書き終えた直後、ドック健診を受けました。健診が終わり、その後医師による診察・面談が行われました。ひととおり診察・面談が行われこれでようやく終了かと思っていたところ、ある検査項目に関し、この項目については結果が判明するまで時間がかかる、後日郵送でお知らせできる内容ではあるが、この検査項目を担当する医師は直接話すことを望むことが多いので、もう一度来ていただいて話を聞くことを勧める、と言われました。また病院に来なければならぬのかと思ひ、いったんは「それでは郵送でお願いします」と答えました。しかし、「やはり健康に関わることだからなあ」と思い直し、来院し直接話を伺うことにしました。

そして10日ほど経って再度病院を訪れ、担当医師から話を伺いました。医師によると、検査結果は大変微妙なもので判断に迷う、できればもう一度検査を受けた方が良いのでは・・・というものでした。このときは「また検査か。郵送にしておけばこういう展開にはならなかったかもしれない」と少し後悔し、検査を受けるにしても数か月後にしてもらおうとしたのですが、「やはり健康に関わることだから早い方が良いのかな」と思い、すぐ再検査を受けることとしました。

その後についてですが、再検査を受けたところ病気に罹っている疑いが強まり入院治療を勧められ、躊躇する気持ちもあったのですが、結局入院治療を受けました。治療後の医師からの説明は、やはり病気に罹っていた、今回の治療で治癒しました、というものでした。健診後の再検査、さらには入院治療と、途中で面倒だと思ひその都度先延ばしを考えたこともあったのですが、結果的には速く進めて良かったと思ったものです。

個人的な出来事を長々と書き恐縮ですが、お伝えしたいことは前回のサロンで書いたことと同じです。自分自身の健康のためには本人が行動を起こす、健康上疑わしいことがあれば病院に行ってしっかりと診察を受けることが必要です。職場が機会を設けてくれた健康診断やドック健診において再検査等が必要という結果が出された場合は、速やかに受診することをお勧めします。

（寒冷沿岸域チーム上席研究員 中嶋 雄一）

\* \* \* \*

表紙左上記号 ISSN 2432-2652の説明

国際的なコード番号であるISSN (International Standard Serial Number : 国際標準逐次刊行物番号)は、ISSN ネットワークが管理する、逐次刊行物を識別するための固有の番号です。この番号は国立国会図書館ISSN日本センターから付与されたものです。